

論文審査の要旨

| | | | |
|--|--|----|---------|
| 報告番号 | 甲 第 3168 号 | 氏名 | 鶴 田 かおり |
| 論文審査担当者 | 主査 教授 下 司 映 一 副査 教授 鈴 木 久 義 副査 准教授 稲 葉 康 子 | | |
| <p>(論文審査の要旨)</p> <p>学位申請論文「COPDセルフ・エフィカシースケール日本語版の作成及び信頼性と妥当性の検討」について、上記の主査1名、副査2名が審査を行った。</p> <p>本論文の要旨は、</p> <p>「COPDセルフ・エフィカシースケール日本語版(CSES-J)を作成し、COPD患者95例を対象として、患者基本情報、一般性セルフ・エフィカシースケール、HADS(Hospital Anxiety and Depression Scale)、主観的幸福感、との関連を検証し、CSES-Jの信頼性と妥当性が認められた。」</p> <p>とするものである。</p> <p>本論文の内容は、1. 研究目的の明確性、2. 研究方法の妥当性、3. 研究効果と考察の妥当性、4. 研究の独創性、5. 研究成果の発表能力、において博士論文としての基準を満たすものである。</p> <p>特に、COPD患者におけるセルフエフィカシーを評価する尺度は、海外では開発されているが、日本語版は作成されていない。本研究において鶴田氏が開発した日本語版版尺度とその信頼性・妥当性に関して得られた知見は、今後の日本人のCOPDに対する自己管理教育においてその効果が期待でき、また学術的新規性が高いと考えられる。</p> <p>以上の審査結果から、本論文を博士(保健医療学)の学位授与に値するものであると判断した。</p> <p>(掲載論文)</p> <p>昭和学士会雑誌、第80巻、2020 掲載予定</p> | | | |

(主査が記載、500字以内)